ちよんがれぶしぐアのし﹁コリヤ段ハ・そんな利くづべーいさく・おぜ済亭の手なれ﹁こうア其しらう志だやへいぐれ﹁忍んホハアそふぶろげちふ・そふ六唄弥さみま志だやがあるみ﹁きん中ようのだんげみ・太鼓の下の接太夫どので・稽古のなるとじサアがあ川て・をとしよふしアハア・衣がよさぶらうん抱ウしるゆよ﹁蕗へあゆよさる﹁とんぢう江戸茶屋が来てしさ・忠臣ぐらの

接話ごアのし﹁そんなかしアア綿役の・ツレあんどらう川くろけちよふヨ・らるの限東ほやア継ぶなうほやア﹁うらが新家の世なアどのが﹁ゆしのまけハ﹁接国の虎太志るよ﹁ヤレハアそアほやアおみしろうん金ぶい・女形サアぶれしぐっちよ﹁おんなぐさサア・縛首の馬るめんまで下の虎の御十がるるハ御十とらハ継がこんぶ﹁ハアそアほやア・家サアはツレ・こんな疫病のある男よ・文べのるらしま・